

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 3月 日				
事業所名		公表日 2025年 3月 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	小集団指導と個別指導を組み合わせるなどして、対応できるようにしている。 パーティションで仕切りを作る等して、部屋数の確保をしている。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	1日の指導人数などを調整し、十分に対応できるようにしている。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	椅子や机の高さ、掲示など、その子に合わせて必要な物を準備するようにしている。 目に入らないよう布を掛けるなどの工夫をしている。	外国籍の方の利用などに対して、情報伝達の工夫をしていく必要があるので、掲示物や連絡方法等の対応を考える。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	必要以上に物を置かないよう工夫している。 身に付けさせたい動きを考え、適宜プレイルームの環境を変えている。	適宜、清掃を行い清潔さを保つようにする。 トイレや廊下、昇降口等、冬場の寒さ対策を考え、改善する。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	年に1回保護者向けのアンケートを行い、業務改善に活かしている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員会議で意見を伝え合っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修に参加した職員が、報告伝達をしている。 園内研修をおこない、個人の資質向上を図っている。	研修の機会をふやすようにする。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員間で話し合いながら、活動内容や支援の方法を考え、共有している。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	利用児に付けて欲しい力を、職員間で共有し、指導内容に取り入れるようにしている。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86%	14%	職員同士お互いに声を掛け合い、チームで取り組む体制を作るようにしている。	小集団だけでなく、個別指導もアドバイスを受けながら行うように、チームで連携していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	支援の方法や子ども達の姿などを確認するようにしている。	それぞれの職員が、思いを語れる場を作り、振り返りや気付きの共有をする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6か月ごとに中間評価を行い、利用児の様子や保護者の思いなどをモニタリングしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	たんぼぼノートの交換や定期的な情報交流会で利用児の情報を共有している。	医療的ケアが必要な児に対して、直接医療との連携ができていないが、保護者を通して情報を得よう心がけ、適切な対応ができるようにする。 リハビリなどの見学を通して、PT・OT・STと連携を図り、支援の方法や対応の仕方を共通理解できるよう、連携体制を整える。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	環境が変わる時などは、支援の引き継ぎ書の作成などを行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	年1回ネットワーク研究会を行い、助言を受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	町内の幼稚園と情報交流を行っている。	未就園児には、カンガルー広場への参加など、幼稚園との交流の場を提案し、必要に応じて同伴する等のフォローを行うようにする。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ペアレントトレーニングは前期に1クール(6回)実施している。 ママの会を開催して、保護者が研修を受ける機会を設けた。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	奉仕活動、福祉大会の開催に協力している。ママの会を通して、交流できる場を設けるようにしている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		HPの活用を今以上に行い、情報の発信を行うようにする。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	72%	28%	民生委員児童委員の訪問などや町内の中学生との交流を行っている。	見学や交流の要請があれば、快く受け入れていくようにする。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86%	14%		昇降口の掲示するようにして、周知する。様々な災害場面を想定し訓練できるよう、避難訓練の在り方や防犯体制の見直しを図る。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	86%	14%		予防接種やてんかん発作などについて、保護者との確認を入園時のみでなく定期的に行う。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%	保護者からの聞き取りにより対応している。	どの職員でも確認できるよう一覧表を作成する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%		策定した計画を生かし、研修や訓練を年間計画の中に取り込み行うようにする。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	86%	14%		行事予定に記載し、周知するよう改善する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	72%	28%		計画書の中に、記載することを検討する。